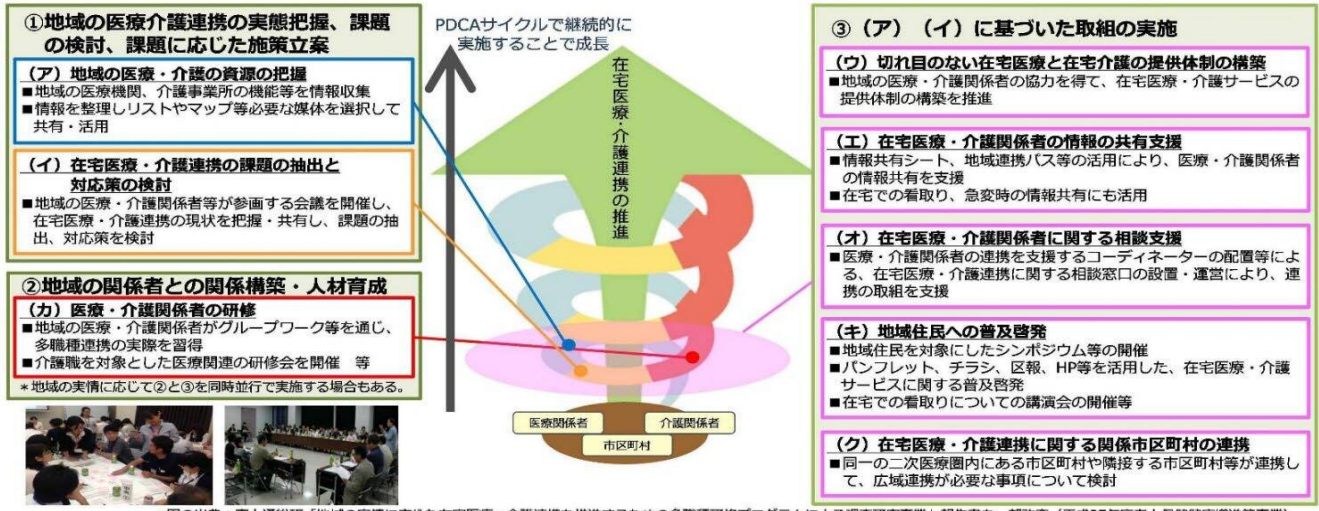


2025年度 中間報告

東久留米市在宅療養相談窓口

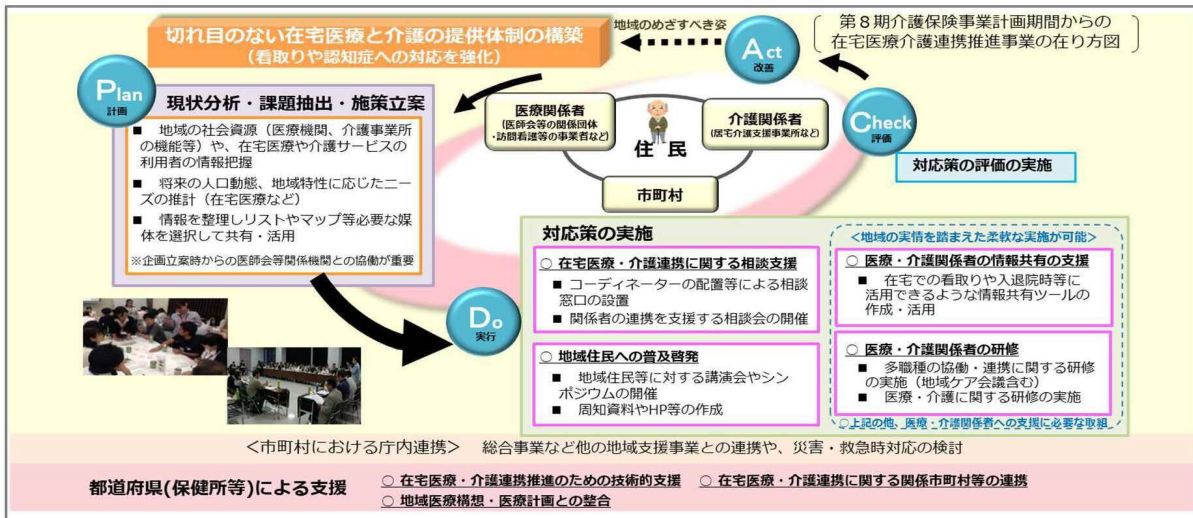
<在宅医療・介護連携推進事業>

平成27年介護保険法により制度化



* 図の出典：富士通総研「地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための多職種研修プログラムによる調査研究事業」報告書の一部改変（平成27年度老人保健健康増進等事業）

在宅医療・介護連携推進事業の手引きVer.2より



在宅医療・介護連携推進事業の手引きVer.4より

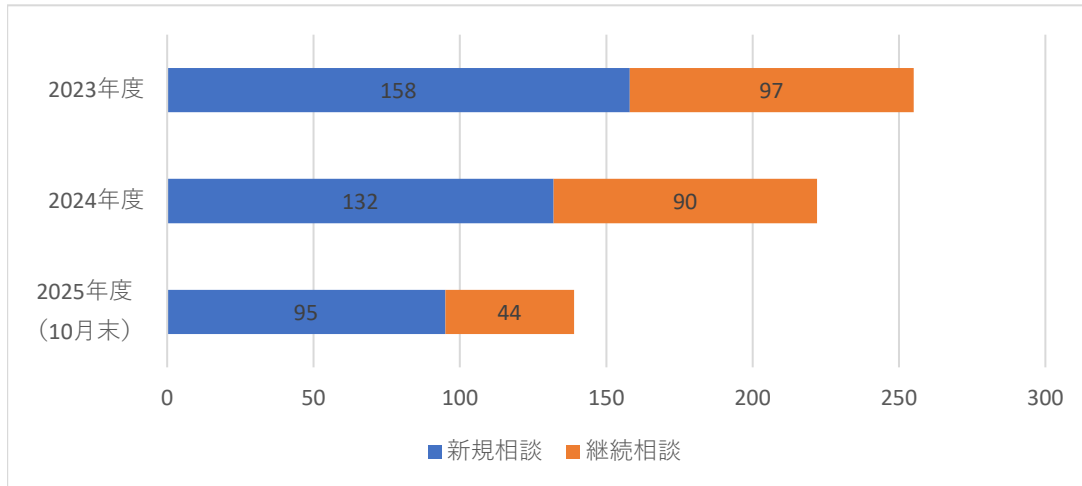
<東久留米市在宅療養相談窓口委託内容>

- 1) 相談業務
- 2) 情報収集・提供
- 3) 在宅医療体制づくりのための連絡・調整業務
- 4) 東久留米市在宅医療介護連携推進協議会等への出席、報告
- 5) 普及啓発活動
- 6) 研修業務

<相談業務>

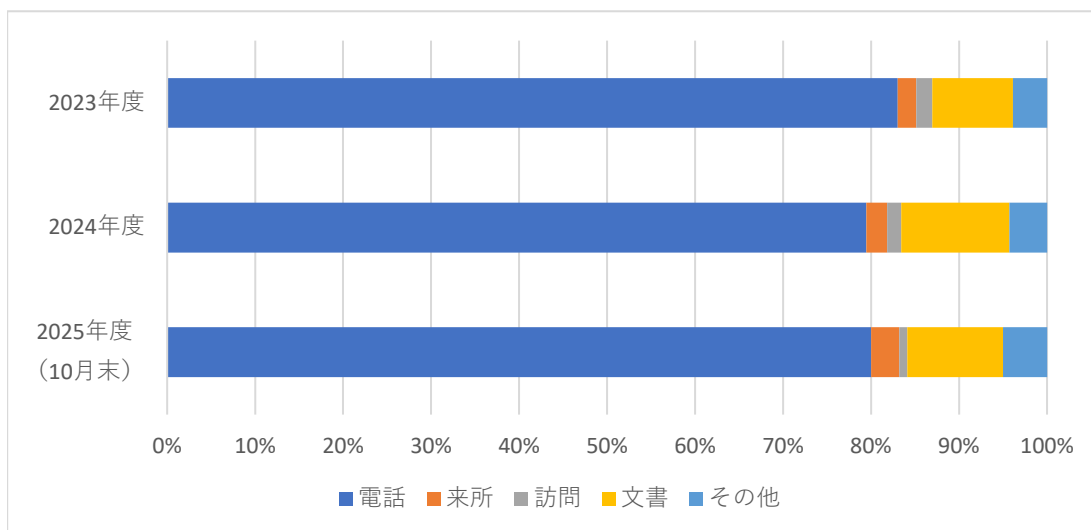
(1)相談件数

	2025年度 (10月末)	2024年度	2023年度
新規相談	95	132	158
継続相談	44	90	97
合計	139	222	255



(2)相談連携手段別件数

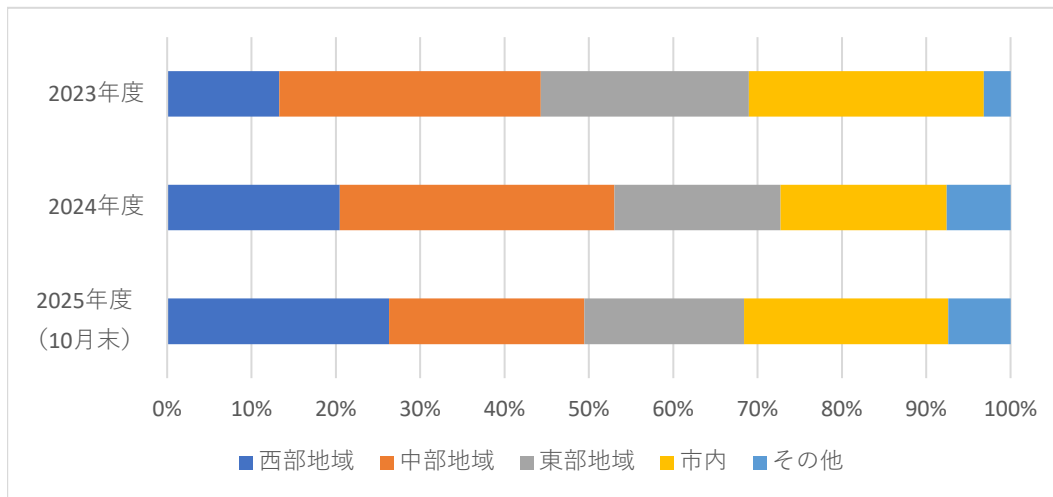
相談連携手段	2025年度 (10月末)	2024年度	2023年度
電話	448	840	1224
来所	18	25	31
訪問	5	17	27
文書	61	130	135
その他	28	45	57
合計	560	1057	1474



(3)今年度新規相談95件内訳

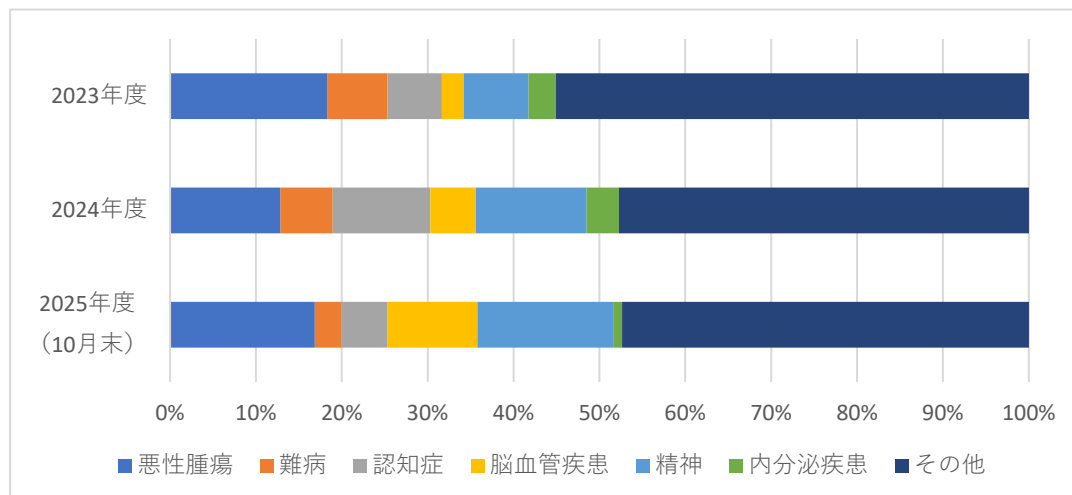
① 居住地別件数

	2025年度 (10月末)	2024年度	2023年度
西部地域	25	27	21
中部地域	22	43	49
東部地域	18	26	39
市内	23	26	44
その他	7	10	5
合計	95	132	158



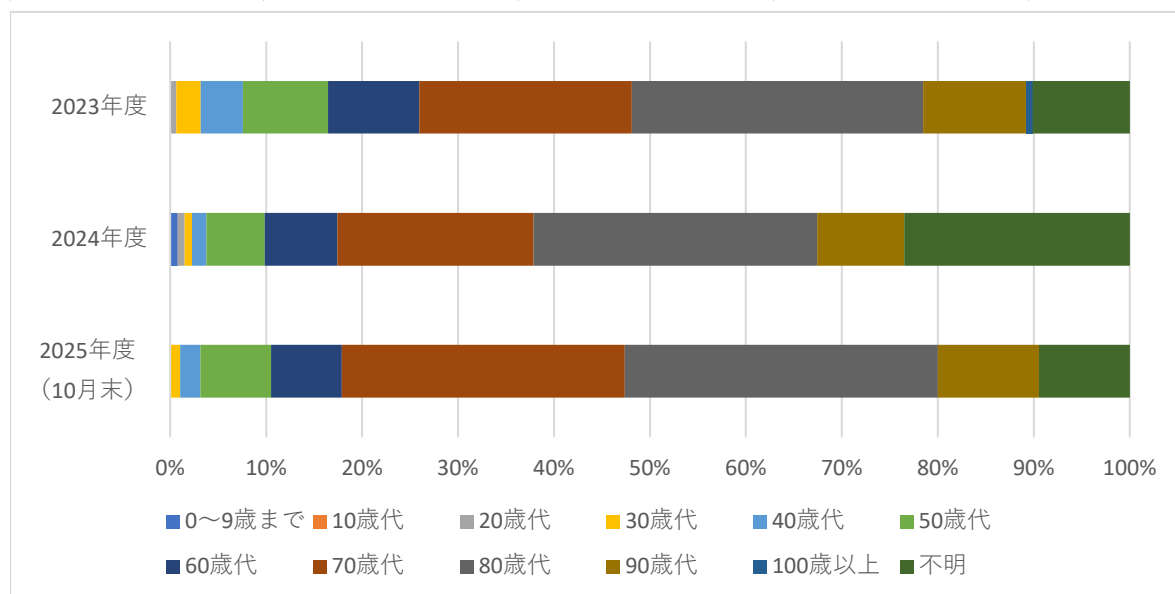
② 疾患種別件数

	2025年度 (10月末)	2024年度	2023年度
悪性腫瘍	16	17	29
難病	3	8	11
認知症	5	15	10
脳血管疾患	10	7	4
精神	15	17	12
内分泌疾患	1	5	5
その他	45	63	87



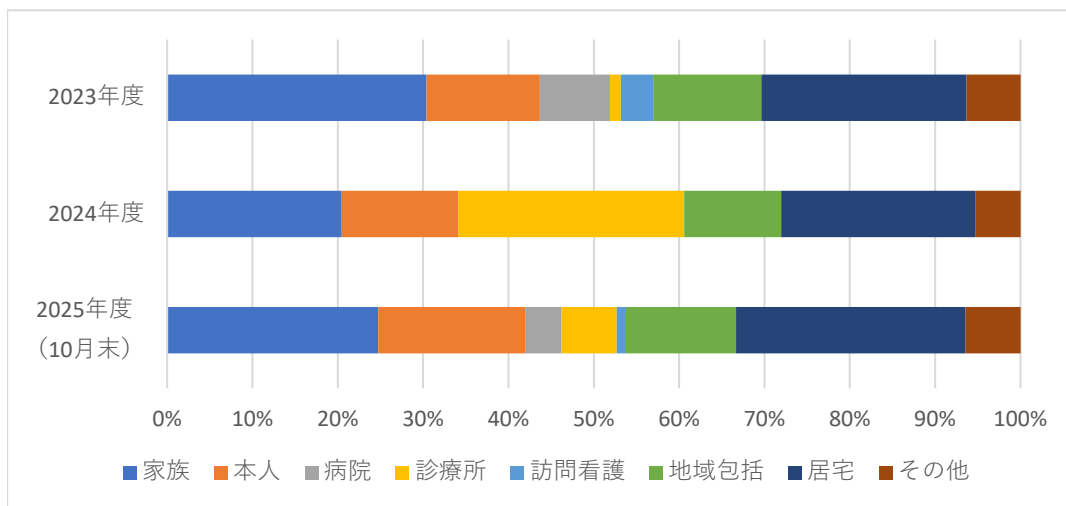
③対象者年齢

療養者年齢	2025年度 (10月末)	2024年度	2023年度
0～9歳まで	0	1	0
10歳代	0	0	0
20歳代	0	1	1
30歳代	1	1	4
40歳代	2	2	7
50歳代	7	8	14
60歳代	7	10	15
70歳代	28	27	35
80歳代	31	39	48
90歳代	10	12	17
100歳以上	0	0	1
不明	9	31	16



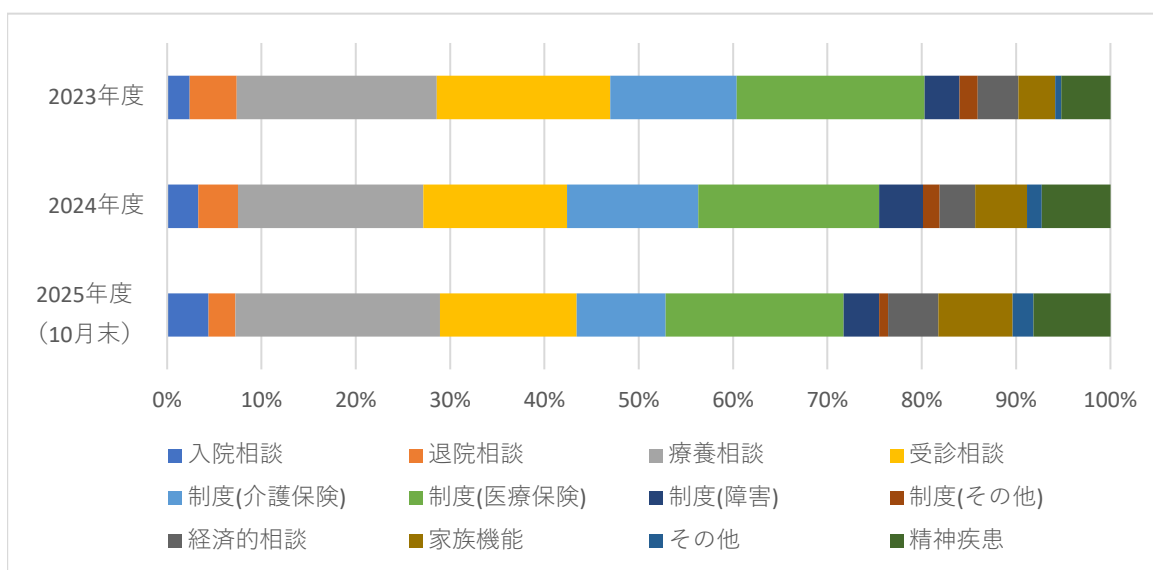
④ 相談経路

相談者職種	2025年度 (10月末)	2024年度	2023年度
家族	23	27	48
本人	16	18	21
病院	4	0	13
診療所	6	35	2
訪問看護	1	0	6
地域包括	12	15	20
居宅	25	30	38
その他	6	7	10



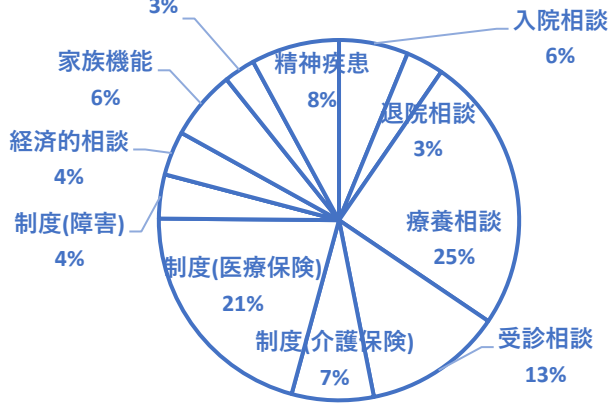
⑤相談内容別件数

相談内容	2025年度 (10月末)	2024年度	2023年度
入院相談	14	15	11
退院相談	9	19	23
療養相談	69	89	98
受診相談	46	69	85
制度(介護保険)	30	63	62
制度(医療保険)	60	87	92
制度(障害)	12	21	17
制度(その他)	3	8	9
経済的相談	17	17	20
家族機能	25	25	18
その他	7	7	3
精神疾患	26	33	24

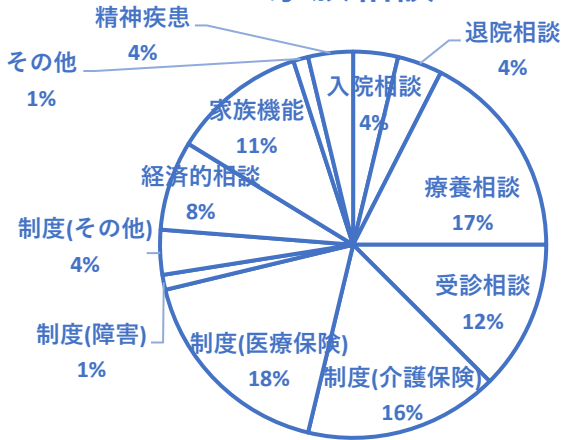


⑤相談内容(再)

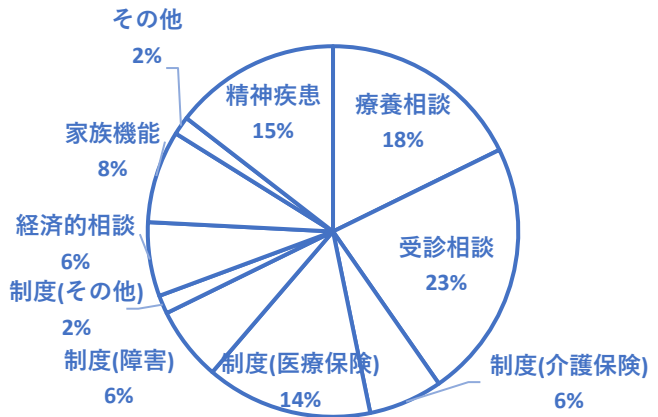
専門職相談



家族相談



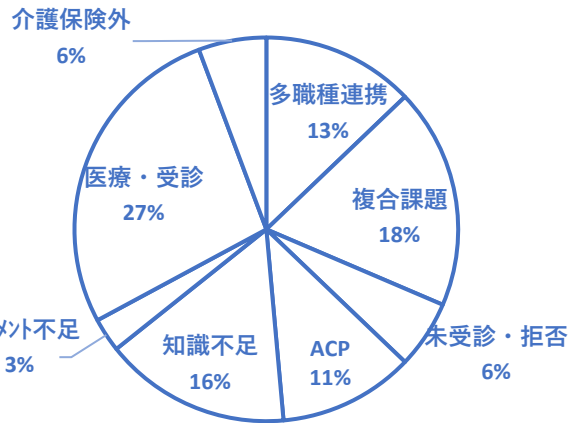
本人相談



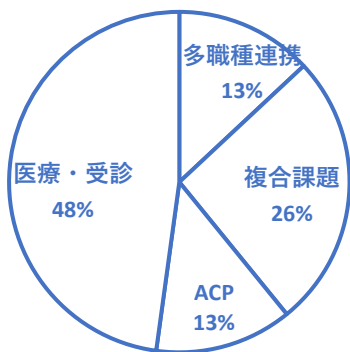
⑥解決課題

専門職

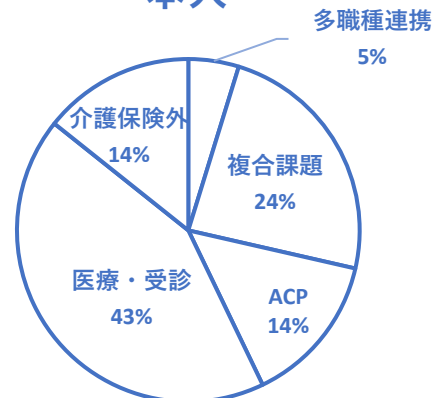
多職種連携
複合課題
未受診・拒否
ACP
知識不足
アセスメント不足
医療・受診
介護保険外



家族



本人



<相談内容具体例>

介護関係者より

- ・(都内大病院からの)通院先変更について
- ・一度自宅に帰ってきたが、ここから回復期リハ病棟利用できるか
- ・お酒がやめられず、転倒を繰り返して困っている
- ・訪問診療に切り替える可能性あり、専門等相談したい
- ・適切な医療機関のかかり方出来ず、あちこち電話してしまう
- ・本人認知症、キパーリン精神疾患あり。受診が進まないなか、転倒繰り返し危険。
- ・今後の療養先について

医療関係者より

- ・近隣の末期対応や訪問診療について知りたい
- ・家族が介護サービス拒否、在宅療養について家族に説明してほしい
- ・外泊時に受けられるサポートはどのようなものがあるか

本人より

- ・何科にかかったらよいか 精神科クリニックが知りたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・介護保険更新時期だがかかりつけ医がない
- ・呼吸が苦しいがどこに行っても良くならない

家族より

- ・栄養相談を受けたい
- ・(認知症?の)本人への接し方について
- ・訪問診療で骨粗しょう症薬自己注射継続することは可能か
- ・東久留米近隣のリハビリ病院、透析、療養病院について
- ・転倒後、身動き取れない。どうしたらよいか。

⑦在宅医療介護連携 <4つの場面+2>

日常療養支援	74
入退院支援	22
急変時対応	2
看取り	4
感染	0
災害	0

2. 情報収集・提供業務

2025年度	市内介護事業者 医療的ケア受入等(予定) (前回2021年実施)
2024年度	市内・近隣市訪問看護ステーション エリア・医療処置等 (前回2020年実施) 市内・近隣市医療機関 病床機能等
2023年度	市内・近隣市有床医療機関 レスパイト入院対応 (前回2019年実施)

- ・市内近隣医療機関 訪問・情報収集
- ・市内近隣患者会カフェ等 訪問・情報収集

3. 在宅医療体制づくりのための連絡・調整業務

- ・医療機関からの退院相談、調整
- ・在宅療養者の入院調整

4. 多職種研修業務

<主催>

2025年度	「第4回多職種理解を深める会 老人保健施設のいま」(9/30) 「心不全とACP」オンライン(2/18予定)
2024年度	「第2回多職種理解を深める会 COPDと包括的呼吸リハビリテーション」 「第3回多職種理解を深める会 病院の機能・つなぎ方」 「精神科へのつなぎ方 連携のポイント」オンライン
2023年度	「医療・介護専門職が知っておきたい 暴力・ハラスメント対策」オンライン 「第1回多職種連携を深める会 “食”」

<その他>

- ・他機関主催の勉強会・研修等への参加
- ・東京都等の在宅医療・介護向け研修のMCSでの周知等

5. 普及啓発業務

- ・清瀬東久留米ホスピス緩和ケア週間
 - ①各市役所・病院にてポスター掲示・資料配布(東久留米10/3～10/14)
 - ②講演会・コンサート「がんの治療中からはじまる緩和ケア
～医療用麻薬はこわくない～」(10/18)

・自治会、市民自主グループ等へのACP普及活動
各包括コーディネーターと連携し出張講座実施

・市民向け在宅療養シンポジウム

2025年度	「これからの多死社会における生き方・逝き方 わたしたちにできること」 (3/12予定)
2024年度	「落語de笑って学ぼう 在宅医療と人生会議」
2023年度	「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けるために」